

2011 年 6 月 27 日付け「荊楚ネット」により

15 億（約 195 億円）元湖北省の生物製薬産業に投入

1 元 = 13 円で計算

昨日、光バレー生物城国際生物医薬、および医療器械フォーラムが武漢において開催された。今回のフォーラムでは海外企業との交渉項目が 181 項目あり、そして 9 項目は湖北省内の企業と商談する予定だ。

情報によると、フォーラムが開催される期間中、海外からの優秀な人材 100 人以上が各自の医薬プロジェクトについて、湖北省の医薬企業 30 社以上と項目の打ち合わせをした。うち合意に達したプロジェクトにかかわる投資額は 15 億元（約 195 億円）近くまでになり、特に武漢益基生物会社、武漢友芝友薬業、武漢朗力生物はそれぞれ武漢光バレー生物医薬産業園発展有限会社と契約、武漢博激世紀科技有限会社、武漢耦合医学科技有限責任会社はそれぞれ武漢ハイテク医療器械園有限会社と契約し、上記契約にかかわる投資額は 11 億元に達したという。

2011 年 6 月 30 日付け「荊楚ネット」により

最低給料基準はこれから 5 年 年間平均調整率 13% 以上増

先日公布された人力資源及び社会保障事業発展の第 12 次 5 ヶ年計画により、これから 5 年間、わが国の最低賃金基準の平均年間調整値は 13% 以上増加する見込みで、ほとんどの地域の最低賃金基準は所在都市従業員の平均給料の 40% を上回る見込みだ。

計画により、第 12 次 5 ヶ年計画実施期間中、わが国は給料の分配規制を合理化させ、従業員の給料、特に農村部労働者の給料が期日通りに全額支払われることを目指す。

給料分配に対するマクロ視点からの指導、制御を強めるために、わが国は最低賃金基準を高め、全国の企業従業員の給料増加状況に指導意見を模索、公布し、統一かつ標準化した企業給料調査及び情報発表規制をした。そのほかに、政府は公務員と企業同レベル従業員の給料の対比制度を作り、労働密集形中小企業所属従業員の給料の増加に、財政および課税政策から優遇政策を与えた。

今年第一四半期に、全国の 13 省は最低賃金基準を上げ、平均増加値は 20.6%。今現在、全国の月給料基準のもっとも高い都市は深圳市の 1320 元（約 1 万 7 千円 1 元 = 13 円で計算）で最低賃金時給基準の最も高かったのは北京で 1 時間あたり 13 元（169 円）である。